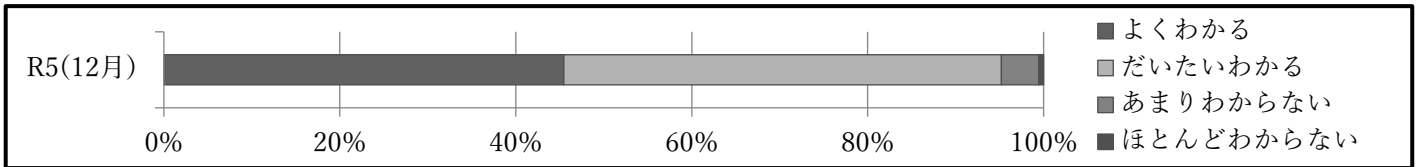


学校だより～冬特別号～

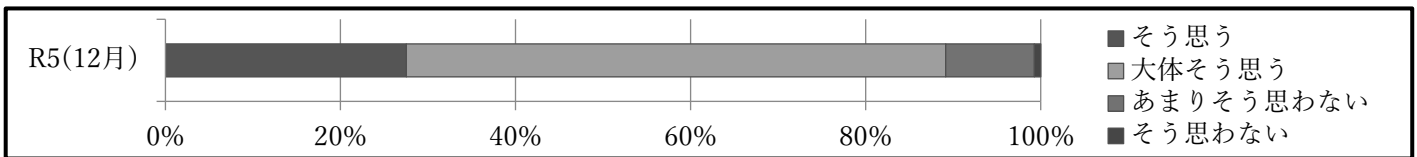
令和6年2月9日
京都市立池田東小学校
校長 辻 佳 英

1. 授業の内容について

<児童>授業の内容はわかりますか。



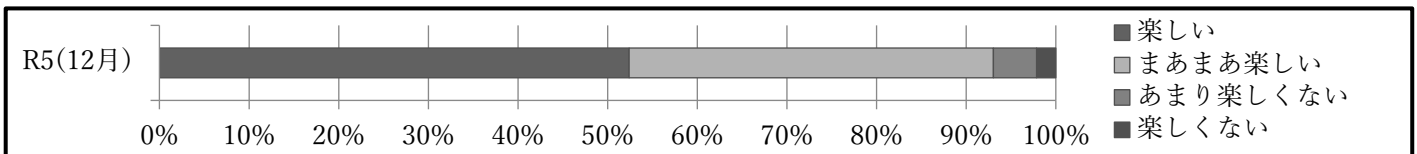
<保護者>子どもは学習内容を理解している。



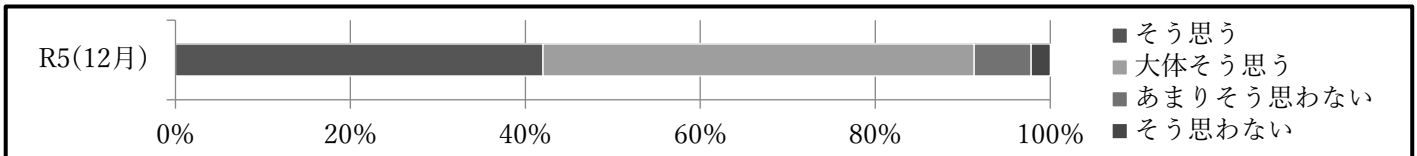
「よくわかる」「だいたいわかる」と回答している児童は95%と、概ね学習内容を理解できている様子が伺えます。しかし、5%ほどの児童が、「あまりわからない」「ほとんどわからない」と回答しています。今後も一人一人を大切に学習を進めてまいります。また、保護者アンケートでは、89%の保護者の方から「そう思う」「大体そう思う」という回答をいただきました。プラス評価の回答が1.8%増加していました。今後も子どもたちに確かな学力をさらにご家庭との連携を大切にしながら、個々の学びを深められるよう取組を進めてまいります。

2. 学校生活について

<児童>学校生活は楽しいですか。



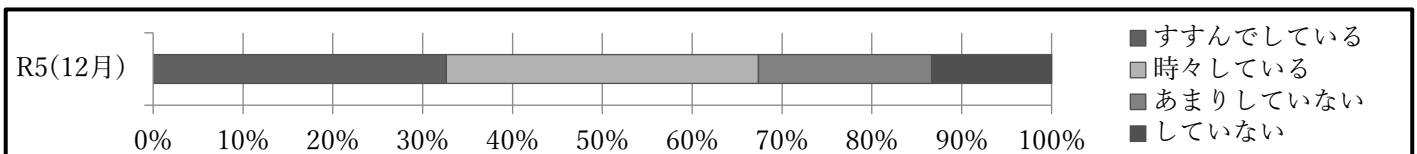
<保護者>お子様は楽しく学校に通っている。



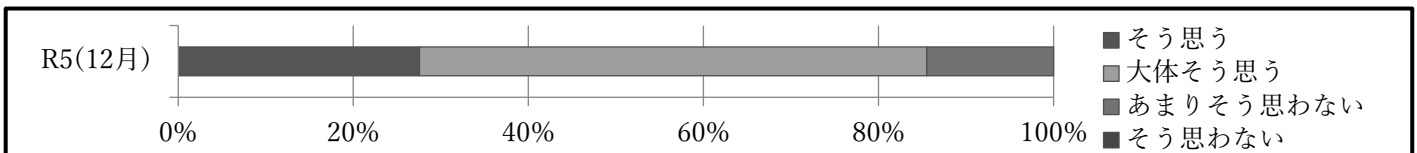
学校生活について、「楽しい」「まあまあ楽しい」と回答している児童が93%、保護者アンケートの「お子様は楽しく学校に通っている」かの質問に「そう思う」「大体そう思う」と回答された保護者の方が91%という結果が出ています。児童に関しては、前回調査よりも3.6%増加しています。多くの児童が学校を楽しんでいること、保護者の方にもそう感じていただいている結果となりました。その反面、「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答している児童もいます。子どもの細かな様子を見取り、一人一人の子どもを豊かに育てていきます。

3. 授業中の取組や態度について

<児童>授業中、発表はしていますか。



<保護者>子どもには思いや考えを伝える力が身についている。

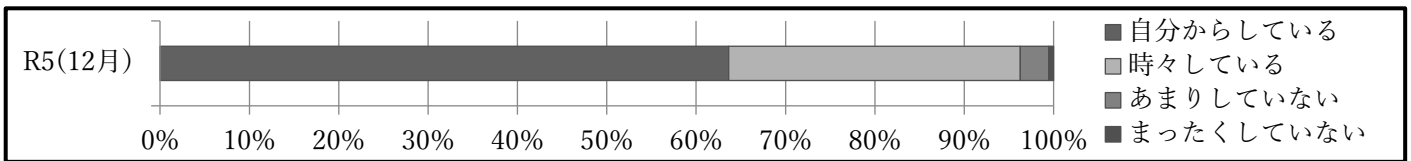


授業中の発表について、「すずんでしている」「時々している」が合わせて67%、「あまりしていない」「していない」が合わせて33%でした。これは前回よりも5.6%減少しています。また、保護者アンケートでは、思いや考えを伝える力が身についているかについて、「そう思う」「大体そう思う」が合わせて88%、「あまりそう思わない」「そう思わない」が合わせて12%でした。

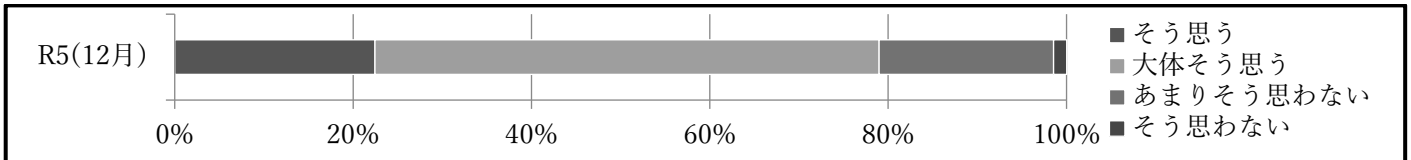
アンケートの結果から、3分の2ほどの児童が相手の話を聞き、落ち着いて学習に取り組んでいる様子が伺える反面、およそ3分の1の児童が、自分の思いや考えを發表することに対して消極的であると回答しています。学習の中で、個々の児童が思いや考えを持ち、主体的に活動できるよう、授業の内容も工夫しながら指導を行ってまいります。

4. あいさつについて

<児童>あいさつはしていますか。



<保護者>子どもたちは、進んで挨拶をしている。

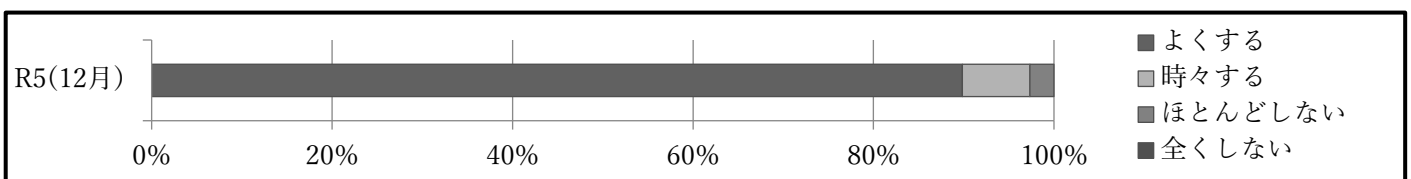


「自分からしている」と回答した児童が64%、「時々している」と合わせると96%に上るなど、肯定的に捉えている様子が伺えます。一方、保護者アンケートでは「子どもたちは進んで挨拶をしている」の質問について、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答されている方が21%という結果でした。

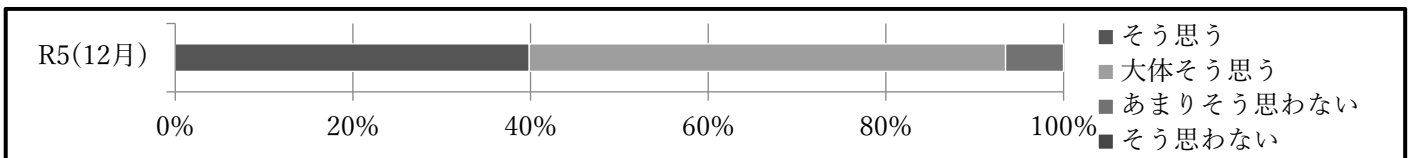
まだまだ相手に伝わるあいさつができていないと感じられているようです。「自分ではしているつもりでも、相手には伝わっていない。」ということが要因と考えられます。地域や家庭においても、相手に伝わる気持ちの良い挨拶を継続して実施できるよう、取り組んでいきます。

5. 人と話をするについて

<児童>友達とは話をしますか。



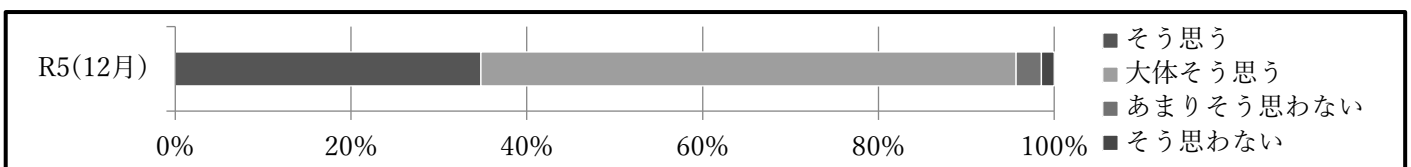
<保護者>子どもと家でよく話をしている。



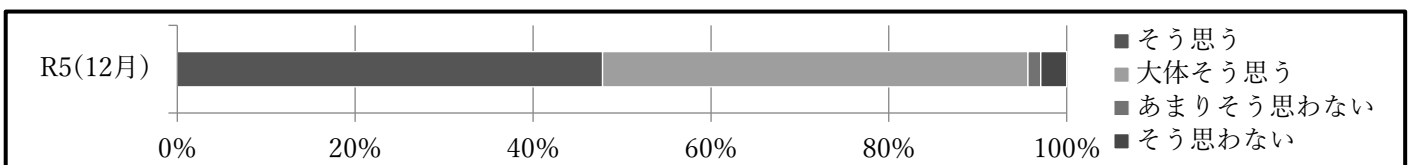
友達と話をすることについて「よくする」「時々する」が合わせて97%でした。また、保護者の方へのアンケートで、家でよく話をするかについて「そう思う」「大体そう思う」が合わせて94%でした。前回と比較しても多少の増減はありますが、ほとんどの児童が友達と話をしたり、家庭で話をしたりできる環境があると言えます。ただ、少しではありますが、あまり話さない、もしくは全く話さないという児童も見られました。一人で悩んだり、寂しい思いをしたりしている児童がいないか、しっかりと児童の様子を見守っていきます。

6. 学校の取組について

<保護者>学校からいろいろな情報発信ができています。



<保護者>教職員の対応に満足している。

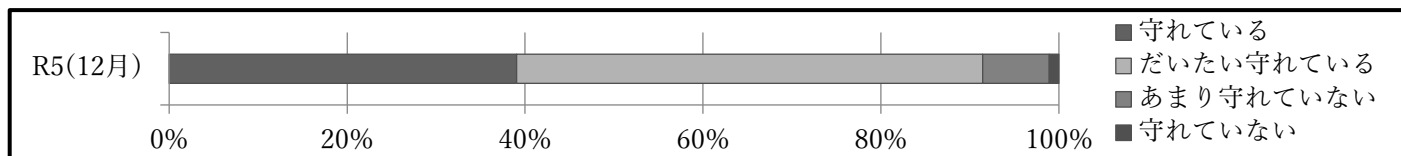


情報の発信ができていないかについて、「そう思う」が35%、「大体そう思う」が61%、教職員の対応に満足かどうかについて、

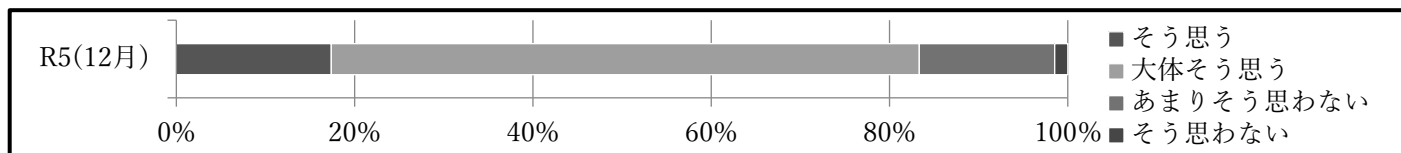
「そう思う」が48%、「大体そう思う」が48%という結果でした。ともに前回調査時よりも少しだけ上昇していました。今後も、保護者・地域とともに子どもを育ていけるよう、情報の発信を進めていきます。

7. 家や学校でのきまり・ルールについて

<児童>家での約束や学校のきまり・ルールを守れていますか。



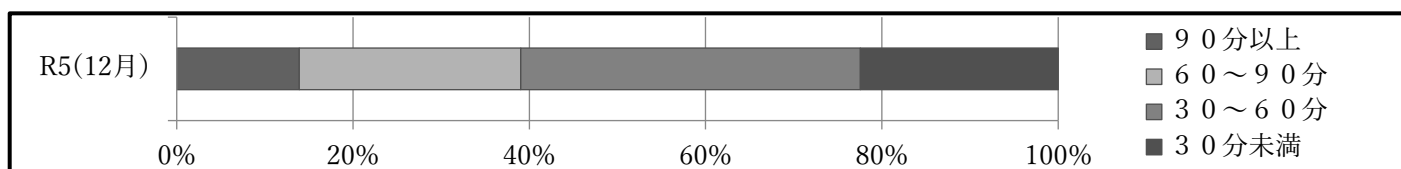
<保護者>子どもは家での約束や社会のルールが守れている。



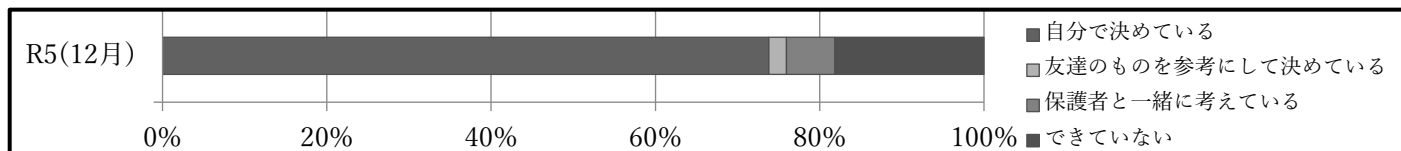
家での約束や学校のきまり・ルールについて「守れている」「だいたい守れている」と感じている児童が91%、また保護者の方にお子様が家での約束や学校のきまり・ルールが守れているかお聞きしたところ、「そう思う」「大体そう思う」と答えられた方が83%でした。多くの児童が家や学校でのきまりや約束・ルールを守っていると認識しており、学校での子どもの様子を見ても、そのように感じます。今後も、家庭や地域と連携して子どもを豊かに育てていきます。

8. 家庭での学習について

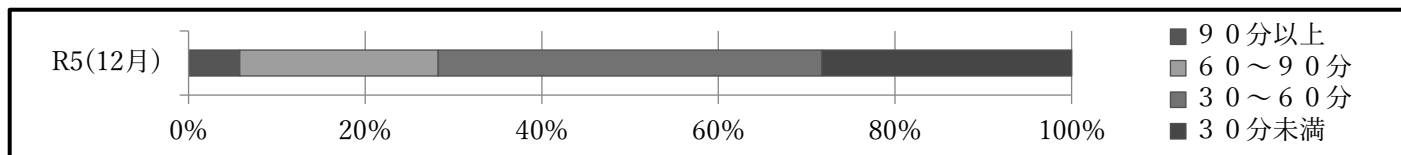
<児童>家での学習時間はどれぐらいですか。(宿題を含む)



<児童>自主学習のテーマは、自分で決めて取り組んでいますか。



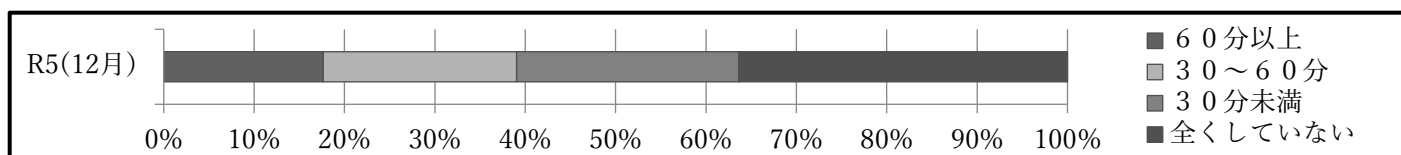
<保護者>子どもの家での学習時間はどれぐらいですか。



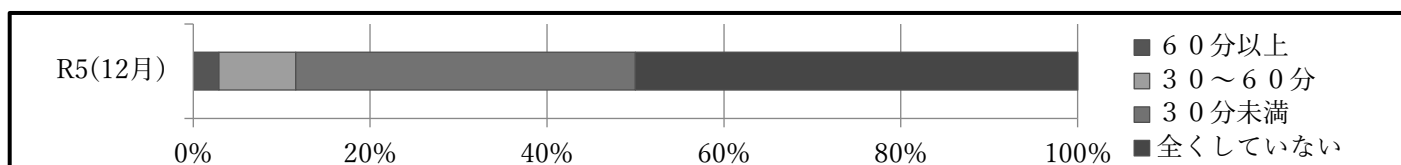
家庭での学習時間ですが、児童アンケートでは「90分以上」が14%、「60～90分」が25%、「30～60分」が39%、「30分未満」が23%という結果でした。しかし、保護者の方は前回調査時にもそうだったように、今回も児童の結果よりも短く感じられています。また、自主学習を「自分でテーマを決めて取り組んでいる」と回答した児童は74%でした。本校が大切に取り組んでいる自主学習が多くの児童に定着していることがわかります。家庭学習が習慣化できるよう、ご家庭でもご協力をお願いします。

9. 家庭での読書について(前回調査時から、選択肢の内容を変更しています。)

<児童>家庭で読書をしていますか。



<保護者>子どもは家でどれくらい読書をしていますか。

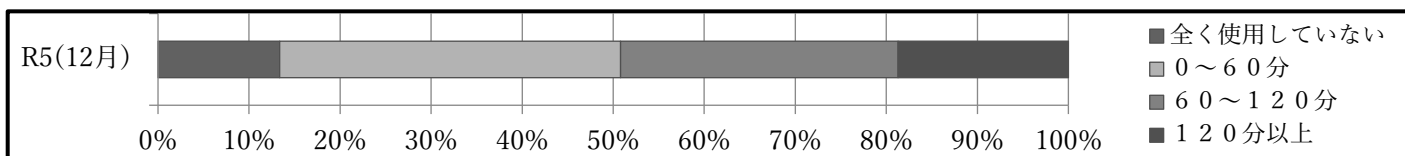


児童アンケートでは、家庭で読書を「60分以上」と回答した児童は18%しかおらず、「30分未満」「全くしていない」と回答した児童が61%という結果でした。一方、お子様が家庭でどれくらい読書をしているかの質問に対し、「60分以上」と回答した保護者の方はほとんどおらず、88%が「30分未満」「全くしていない」という結果でした。

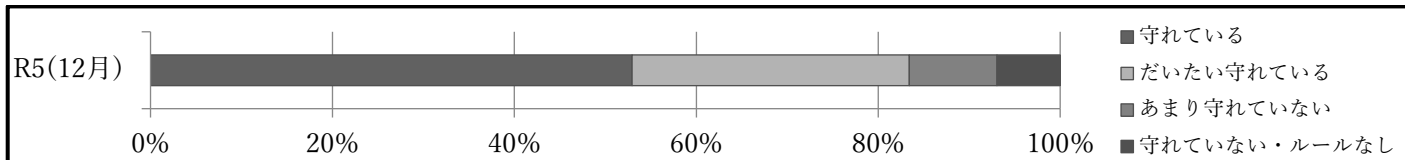
テレビやSNS、ゲームなどに時間を割いており、読書離れが一層進んでいる結果だと言えます。学校では毎朝、朝読書の取組を継続しています。ご家庭でもぜひお声かけいただくとともに、ぜひお子様と一緒に読書をしてみてください。

10. メディアコントロールについて（前回調査時から、「テレビ」を「インターネット・SNS」に変更しています）

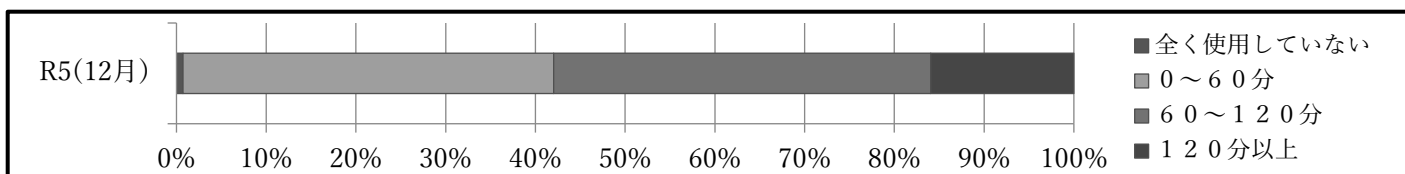
<児童>ゲーム・スマホ・インターネット・SNSの時間はどれくらいですか。



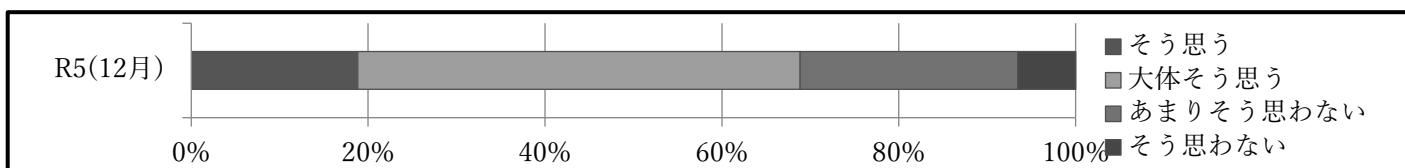
<児童>ゲーム・スマホ・インターネット・SNSのルールは守っていますか。



<保護者>子どものゲーム・スマホ・インターネット・SNSの時間はどれくらいですか。



<保護者>ゲーム・スマホ・インターネット・SNSのルールを決め、守らせている。

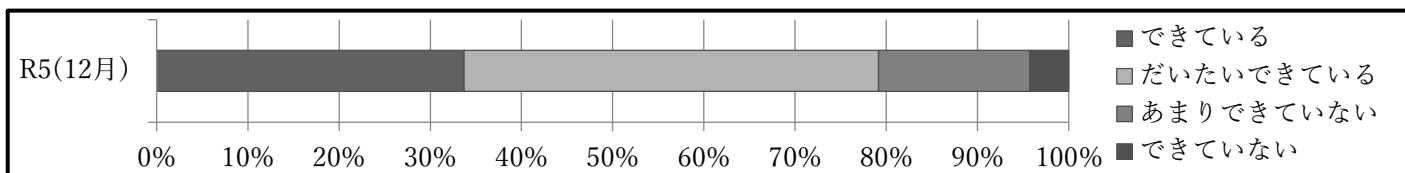


児童アンケートの「ゲーム・スマホ・インターネット・SNS」のルールを守っていますか」という質問では、「守れている」「だいたい守れている」が合わせて83%でした。保護者アンケートの「ルールを決め、守らせている」では、「そう思う」「大体そう思う」が合わせて69%でした。前回調査よりも児童・保護者共に数値が減少しています。現在、社会には様々なメディアがありルールを守ること・守らせることが難しくなっているという結果となりました。

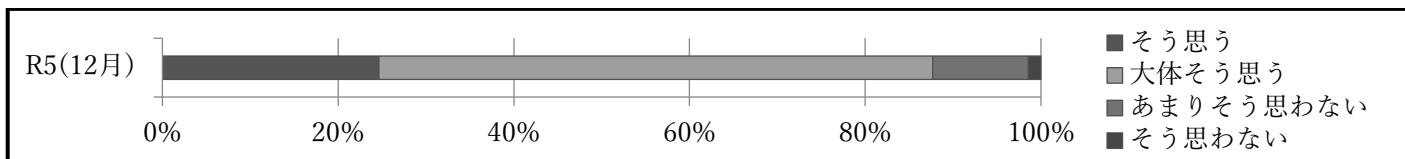
今年度も、昨年度に引き続きメディアコントロールデーを設け、保護者の方にもご協力いただきながら、メディアとの上手な付き合い方を考える取組を行っています。児童がメディアを活用する機会は、やはり家庭に帰ってからが多くなります。そのため、ご家庭でも、改めてメディアに関するルールを話し合ってくださいますよう、よろしくお願いします。

11. 生活習慣について

<児童>早寝・早起き・朝ごはん等、規則正しい生活をしていますか。



<保護者>早寝・早起き・朝ごはん等、規則正しい生活習慣が身についている。



児童アンケートでは、「できている」「だいたいできている」が合わせて79%、「あまりできていない」「できていない」が合わせて、21%でした。保護者アンケートでは、「そう思う」「大体そう思う」が88%、「あまりそう思わない」「そう思わない」が合わせて12%でした。7月の調査時より児童アンケートでは6%ほどプラス評価が減少していました。

多くの児童、保護者の方が規則正しい生活を送れていると感じている反面、寒さもあるのか、児童アンケートではプラス評価が減少する結果となりました。規則正しい生活を送ることで、学習効率も上がることが期待できます。ご家庭のご支援・ご協力を今後もよろしくお願いします。